

堺市財政危機脱却プラン

未来を創る 集中改革

危機的な財政状況から脱却し、夢と希望が持てる、魅力ある堺の未来を創るため、堺市財政危機脱却プラン（案）を取りまとめました。

堺市政集中改革室（☎228-7015 FAX228-1303）

堺市の財政の今 → 「すぐに破綻はしませんが、このままでは未来が創れません」

健全化判断比率

夕張市の財政破綻をきっかけに設けられた、財政破綻を未然に防ぐための財政指標です。

実質赤字比率

連結実質赤字比率

実質公債費比率

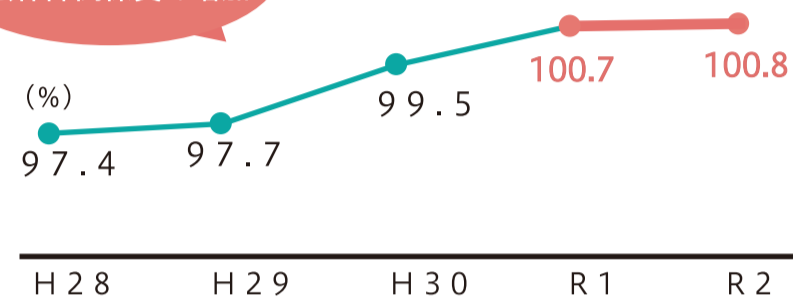
将来負担比率

これらの指標は基準を下回っていますが、十分な行政サービスを提供できる財源があることを示すものではありません。

経常収支比率

市独自サービスの拡充
社会保障関係費の増加

毎年常に支払わなくてはならないお金が、市税などの毎年常に入ってくるお金に占める割合です。この指標が100に近づくほど、お金の余裕がなくなります。



市では100%を超えており、毎年常に支払うお金が市税などの収入で賄えていません。不測の事態や新たな行政課題への対応が難しくなります。

今まで何をしていたの？ → 令和元・2年度で計画・事業の見直しを断行

計画の見直し

- ・初期費用 65億円
- ・運営費用 4億円

- ◎百舌鳥古墳群ガイダンス施設計画を中止
- ◎泉ヶ丘公園用地取得の方法を見直し（府から無償譲渡）
- ◎児童自立支援施設基本計画を中止

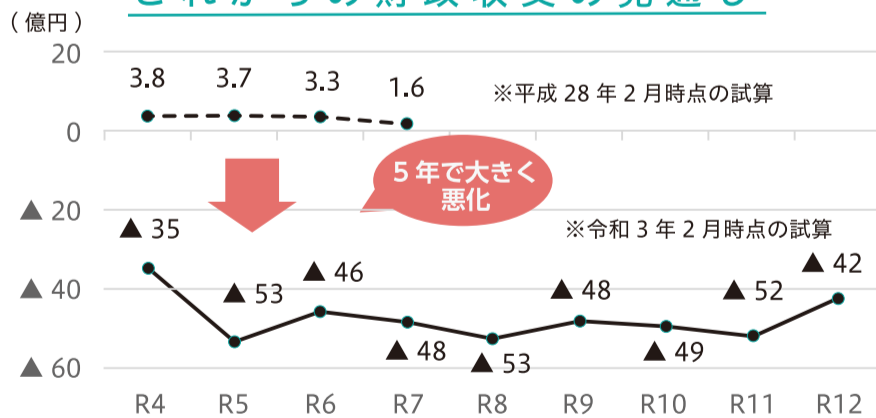
事業の見直し

- ・初期費用など 18億円
- ・運営費用など 43億円

- ◎堺都市政策研究所を解散
- ◎ケーブルテレビ番組「堺シティレポ」を廃止
- ◎当初予算編成過程での経費を見直し など

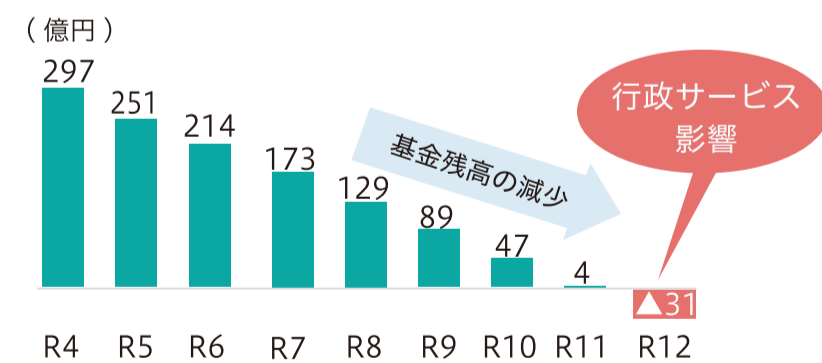
このままだとどうなるの？

これからの財政収支の見通し



財政収支見通しは平成28年以降、令和2年まで更新されてきていませんでした。（※令和2年度以降は毎年お示ししています。）この間、市独自サービスの拡充や社会保障関係費の増加などにより収支不足が常態化しています。令和元・2年度に計画・事業の大規模な見直しを断行してもなお令和3年2月の試算では毎年度40～50億円程度の収支不足が続く見通しです。

貯金（基金）残高の見通し



毎年度の収支不足を賄うため、基金（貯金）を取り崩していますが、この状況が続くと、基金（貯金）が底をつきます。その結果、現在実施しているさまざまな行政サービスに甚大な影響を及ぼします。

貯金を取り崩すことなく 収支の均衡を保つために

収入を増やす

支出を減らす

両輪の改革が必要！

堺市財政危機脱却プラン（案）

目標

令和12年度までに収支不足を解消し、収入と支出の均衡を図ります

集中改革期間

令和3・4年度の集中改革期間中に目標達成の道筋をつけます

支出を減らす

公共投資の選択と集中

公共施設やインフラの新設・更新などに要する総コストを2割程度縮減

公共施設のマネジメント

日高少年自然の家の廃止、町家歴史館3館への指定管理者制度の導入など

外郭団体の見直し

堺市産業振興センターと堺市勤労者福祉サービスセンターの統合など

イベント・補助金など市独自施策の見直し

おでかけ応援制度の対象年齢の見直しと高齢者の健康増進施策の充実
コミュニティサイクル事業の終了とシェアサイクルの本格実施など

人件費等の抑制

政令市トップクラスのスリムな職員体制（令和3年度比で職員数を4%程度削減）など

収入を増やす

住宅供給の促進

鉄道駅周辺の都市型住宅の供給や大規模団地などの建替促進

企業誘致の促進

都心・中百舌鳥地区などで、エリアの特色に合わせた事業所を誘致

民間開発の誘導

市街化調整区域から市街化区域への編入や幹線道路への産業立地の誘導

将来の収支予測（イメージ）

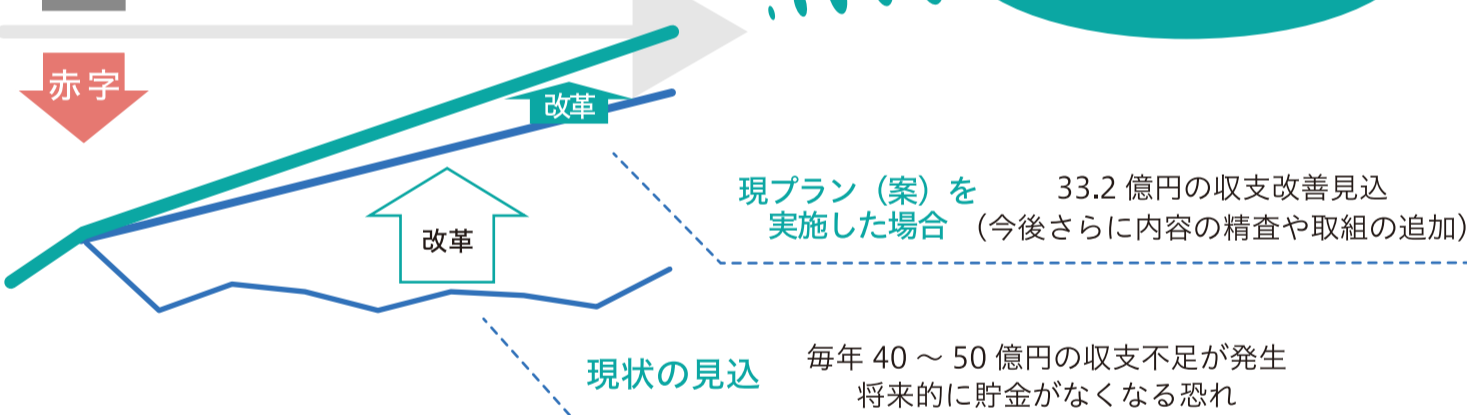
「集中改革」期間内に取組項目の追加などを行い、目標達成の道筋をつけます。



プランの実行

収支均衡 (2030年)

真に健全な財政を実現



めざす堺の将来像

今後の市政運営の大きな方針を示す「堺市基本計画2025」(QRコード)では、2025年までの目標としての成果指標と本市がめざす都市像を示しています。将来にわたり成長しつづけるため、人や投資を呼び込み、税金など「稼ぐ力」をつけ、持続可能な都市経営を実現します。



2025年までの目標（例）



前期高齢者の要支援認定率
2.83%(R1)⇒2.30%

学力調査の堺市の平均値 (全国を100とする)

小学6年生:100.5、中学3年生:95.8(R1)
⇒小学6年生:103.0、中学3年生:100.0

未来を創るイノベティブ都市 ~変化を恐れず、挑戦・創造しつづける堺~



歴史ある水辺を最大限活用するベイエリア



新たな交通システムで都市魅力を創出(堺・モビリティ・イノベーション)



世界遺産の魅力を伝え、後世にも引き継ぐ大仙公園エリア



新しいライフスタイルを生み出す泉北ニュータウン

ご意見募集します！

子どもたちや将来世代に負担を先送ることなく、明るい未来をつくるため、責任をもって改革に取り組む「堺市財政危機脱却プラン（案）」について、皆さんからのご意見を募集しています（11月18日まで）。詳しくは市（区）役所市政情報センター（コーナー）などにある資料かホームページ（QRコード）をご覧ください。

